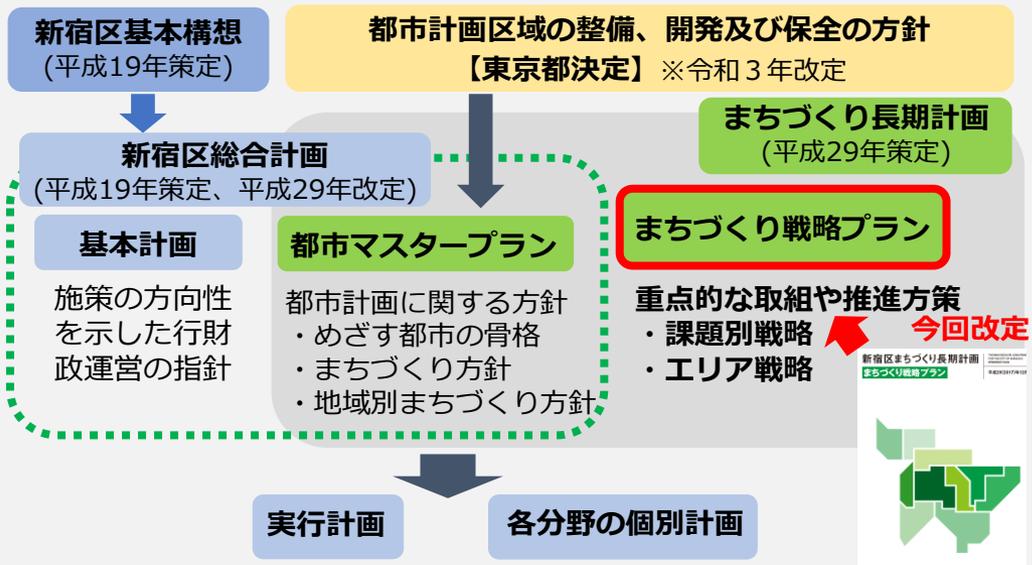


1 まちづくり戦略プランとは

「まちづくり戦略プラン」は、都市計画に関する基本的な方針である「都市マスタープラン」の実現に向けて10年間を見据えた計画として、平成29年12月に策定しました。「まちづくり戦略プラン」は、「課題別戦略」と「エリア戦略」で構成し、次のことを示します。

- ・区内全域または、地区が抱える課題に対する重点的な取組
- ・重点的な取組を推進するための各まちづくり主体(区民・事業者・行政)の役割 おおむね5年ごとに検証し、まちづくりの進捗にあわせ、必要に応じて見直すこととしています。

2 計画の体系



3 これまでの流れ



4 改定の視点

課題別戦略

課題別戦略では、新宿区全域の「重点課題」を2つ設定しています。

重点課題1 「新宿の高度防災都市化と安全安心の強化」

重点課題2 「賑わい都市・新宿の創造」

新たに追加する視点

平成29年以降の社会経済情勢の変化や、区で新たに取り組んでいる施策への対応を検討します。

- ◎デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応したまちづくり
- ◎移動等円滑化促進方針によるユニバーサルデザインまちづくりの推進
- ◎ゼロカーボンシティの実現に向けた取組
- ◎超高層ビル群のスカイラインに関する景観形成

エリア戦略

以下のエリアのうち、「青字」の各エリアで取り組んでいるまちづくりの進捗への対応を検討します。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 四谷駅周辺 | 11 新宿駅周辺地区 |
| 2 神宮外苑・信濃町周辺 | -1 新宿駅直近 |
| 3 神楽坂 | -2 新宿駅東口 |
| 4 飯田橋駅東口周辺 | -3 新宿駅西口 |
| 5 外苑東通り沿道 | -4 十二社通り・青梅街道周辺 |
| 6 若松環4沿道 | -5 歌舞伎町 |
| 7 大久保・百人町 | |
| 8 高田馬場駅周辺 | |
| 9 中井駅周辺 | |
| 10 西落合 | |

新たに追加するエリア

まちづくりの動向があるエリアを、新たに追加することを検討します。(「**西早稲田駅周辺**」)

平成29（2018）年以降の主な出来事①

年	新宿区	社会全般（国内外）
平成29年 (2017)	3月 「下落合図書館」がオープン 区成立70周年	6月 天皇の退位等に関する皇室典範特例法が成立 7月 九州北部豪雨 国連核禁止条約採択
	9月 「漱石山房記念館」がオープン	
平成30年 (2018)	2月 「ささえーる薬王寺」がオープン	2月 平昌冬季五輪 6月 大阪府北部地震 震度6弱 7月 豪雨 西日本 (11府県で大雨特別警報が発表)
	4月 新たな総合計画がスタート 新宿中央公園が開園50周年	
平成31/ 令和元年 (2019)	6月 住宅宿泊事業の適正運営、地域住民の安全安心を目指し、Airbnbと協定を締結	5月 天皇陛下が即位、「令和」に改元 9月 ラグビーW杯 日本大会開幕 房総半島台風（千葉県で93万戸停電） 10月 消費税率10%スタート、軽減税率導入 東日本台風（14都県に大雨特別警報）
	7月 大久保地域の環境・混雑対策として「新大久保ルール」を定める	
	11月 「国立競技場」が竣工	
令和2年 (2020)	4月 「四谷スポーツスクエア」がオープン	1月 英国がEU離脱 3月 国内で「5G」商用サービス開始 7月 熊本豪雨 レジ袋有料化スタート
	6月 新宿住友ビル「三角広場」完成	
	7月 損保ジャパン「SOMPO美術館」がオープン	
	新宿中央公園「芝生広場エリア」をリニューアル、交流拠点施設がオープン	
	新宿駅の「東西自由通路」が開通	
	9月 「補助第72号線」が全線開通	
10月 新宿区ユニバーサルデザインまちづくり条例を全面施行		



漱石山房記念館



新宿中央公園(芝生広場)

平成29（2018）年以降の主な出来事②

年	新宿区	社会全般（国内外）
令和3年 (2021)	<p>3月 新宿中央公園に「眺望のもり」がオープン 牛込保健センター等複合施設がZEB Ready認証 を取得</p> <p>6月 ゼロカーボンシティを表明</p> <p>11月 新宿区移動等円滑化促進方針の 策定</p>  <p>新宿中央公園(眺望のもり)</p>	<p>7月 熱海で大規模な土石流が発生 東京2020オリンピック開幕</p> <p>8月 東京2020パラリンピック開幕</p>
令和4年 (2022)		<p>2月 北京オリンピック2022開幕 ロシアのウクライナ侵攻</p> <p>3月 北京パラリンピック2022開幕 福島県沖を震源とする地震 震度6強</p>

【新型コロナウイルス感染症関係】

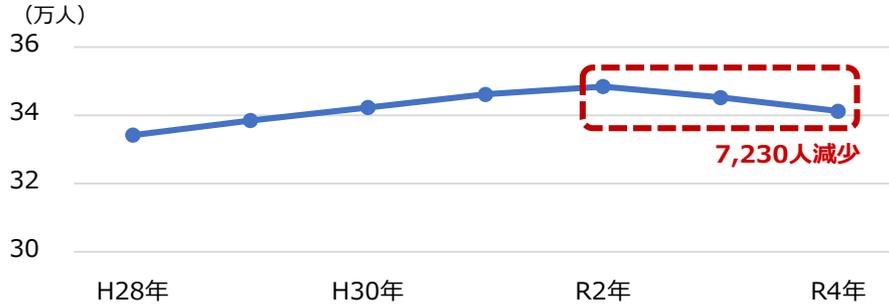
令和2年 (2020)	<p>3月 WHOがパンデミック宣言、各国でロックダウンや入国制限措置 小中学校一斉休校、東京2020オリンピック・パラリンピック1年延期が決定</p> <p>4月 第1波、緊急事態宣言</p> <p>7月 第2波</p> <p>12月 第3波</p>
令和3年 (2021)	<p>1月 緊急事態宣言</p> <p>2月 新型コロナワクチン接種開始</p> <p>4月 第4波、緊急事態宣言</p> <p>7月 第5波（デルタ株の流行）、緊急事態宣言</p> <p>12月 新型コロナワクチン3回目接種開始</p>
令和4年 (2022)	<p>1月 第6波（オミクロン株の流行）</p>

新宿区の概況①

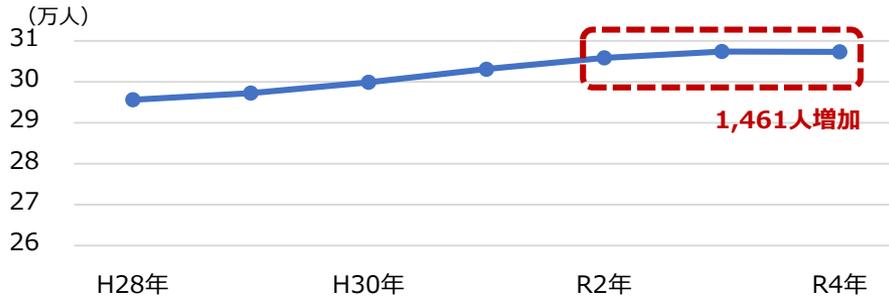
新宿区の人口推移

出典：新宿区HP
※住民基本台帳 各年1月1日現在

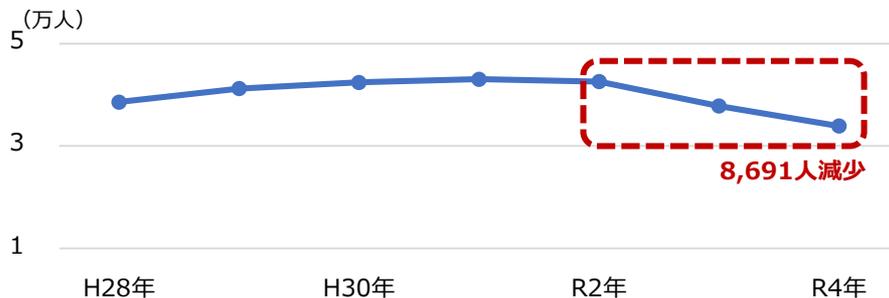
人口推移（総計）



日本人人口の推移



外国人人口の推移



東京都特別区部の移動者の転入元・転出先地域

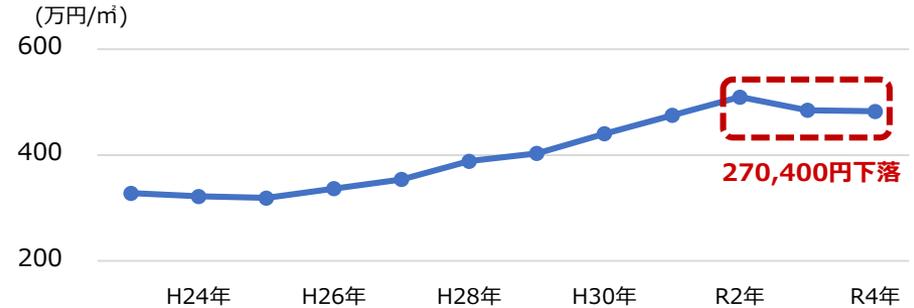
出典：2021年「住民基本台帳人口移動報告」（総務省統計局）をもとに事務局が作成



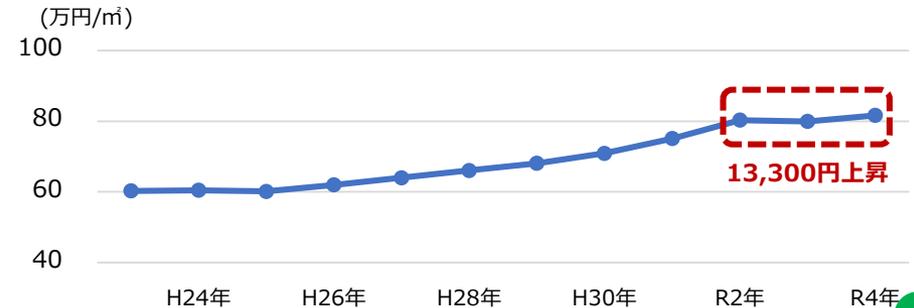
地価公示価格の推移

出典：東京都財務局HPをもとに事務局が作成（各年1月1日現在）

新宿区_商業地(平均価格)

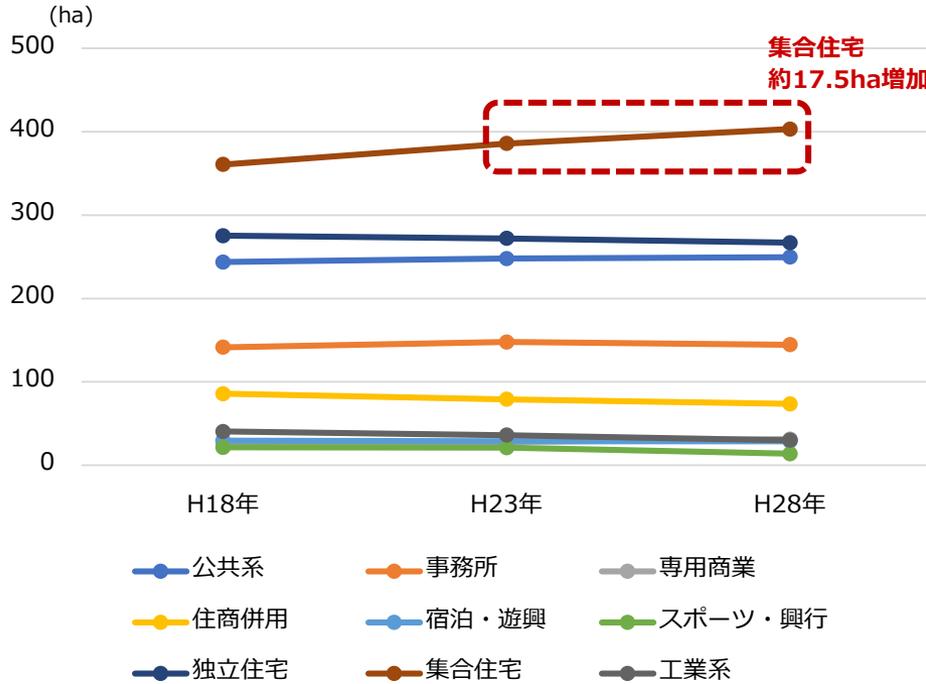


新宿区_住宅地(平均価格)



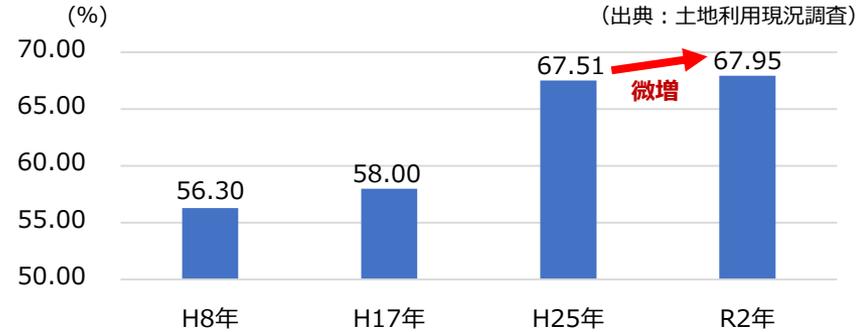
用途別土地利用の推移

(出典：土地利用現況調査)



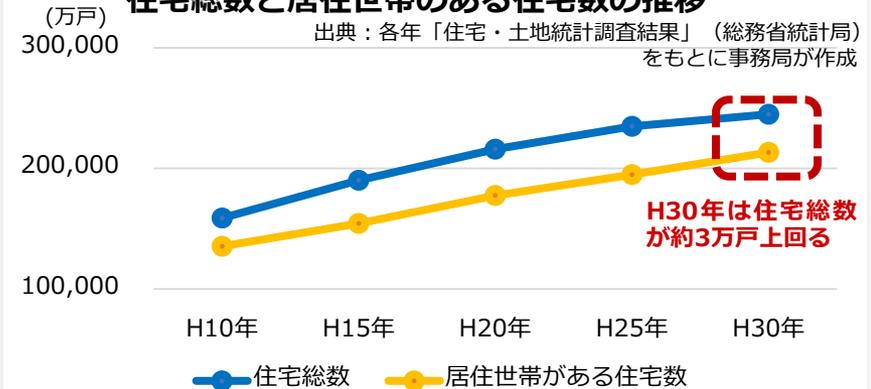
都市計画道路の完成率の推移

(出典：土地利用現況調査)



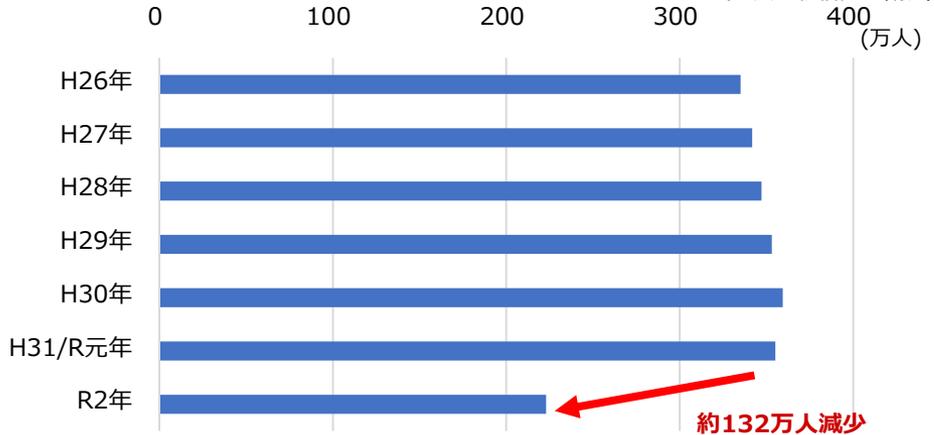
住宅総数と居住世帯のある住宅数の推移

出典：各年「住宅・土地統計調査結果」(総務省統計局)をもとに事務局が作成



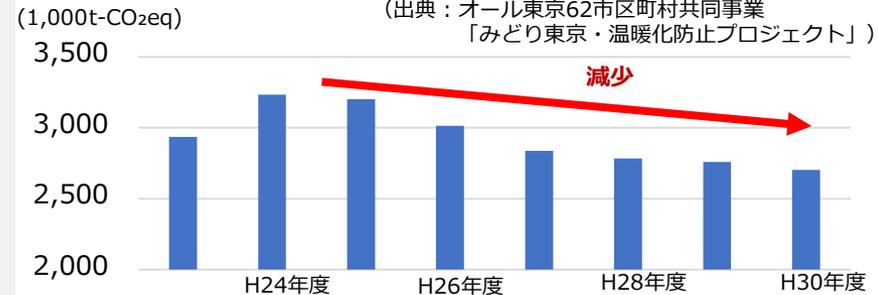
新宿駅の一日常乗降客数の推移

(出典：新宿区の概況)



新宿区の温室効果ガス排出量(推計)の推移

(出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」)

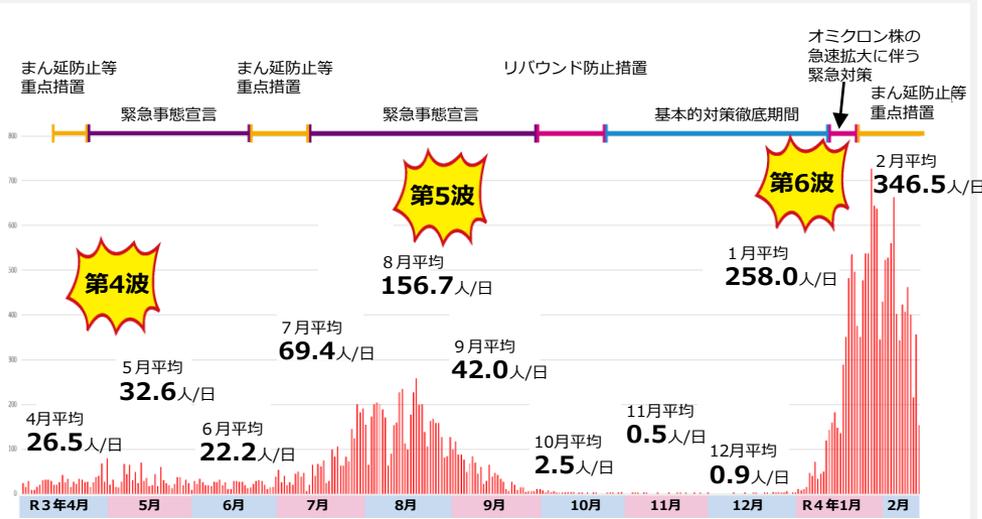


社会経済情勢の変化等

新型コロナウイルス感染症の拡大

(出典：新宿区HP)

【区内感染者数の推移】



【区内のワクチン接種状況】

(対象人数は令和4年4月1日時点の住民基本台帳、接種割合は令和4年4月19日時点)

区分	12~15歳	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~74歳	75歳以上	合計
対象人数(千人)	7.3	7.9	56.5	58.2	55.4	46.7	16.5	31.3	35.9	315.7
1回目接種割合%	71.2	77.2	72.4	81.1	83.6	85.9	88.5	91.4	95.3	83.4
2回目接種割合%	71.2	75.9	71.5	80.4	83.2	85.4	87.9	90.7	94.7	82.8
3回目接種割合%	3.4	18.8	27.6	38.2	46.8	58.7	72.8	82.4	84.1	52.7

暮らし方・働き方の変化

【テレワークの導入状況の推移】

出典：令和2年通信利用動向調査報告書(総務省)をもとに事務局が作成



【自由時間の過ごし方】

出典：国民生活に関する世論調査_東京都区部(内閣府)をもとに事務局が作成

	令和元年	令和3年
1位	映画鑑賞、コンサートなどの趣味・娯楽	睡眠、休養
2位	テレビやDVDなどの視聴	テレビやDVDなどの視聴
3位	家族との団らん	インターネットやSNSの利用
4位	睡眠、休養	映画鑑賞、コンサートなどの趣味・娯楽
5位	運動、各種スポーツなど自分で行うスポーツ	家族との団らん

ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

区が率先して地球温暖化対策の更なる推進に向けた決意を示すため、令和3年6月5日にゼロカーボンシティの実現に向けて取り組むことを表明しました。



新宿区 ゼロカーボンシティ表明

近年、全国各地で地球温暖化の影響と考えられる記録的な猛暑や台風の巨大化等による災害が多発しており、私たちの生活基盤を揺るがす事態となっています。

2050年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までにCO₂の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

我が国においても、令和2年10月の内閣総理大臣所信表明で「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」が宣言されました。

こうした状況にあって、区が率先して地球温暖化対策の更なる推進に向けた決意を示すことで、区内におけるCO₂排出削減をより一層促進させていくとともに、国が目指す「経済と環境の好循環」にもつなげていく必要があります。

区は、区民・事業者等と一体となって連携・協力しながら、2050年までに区のCO₂排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」実現に向けて取り組むことを、ここに広く表明します。

令和3年6月5日
新宿区長 吉住 健一

区内のバリアフリー整備の促進

誰もが円滑な移動を確保できるよう、令和3年11月に「新宿区移動等円滑化促進方針」を策定しました。

【方針に示す主な内容】

○ 生活関連施設・生活関連経路の設定

① 高齢者や障害者等が多く利用する施設

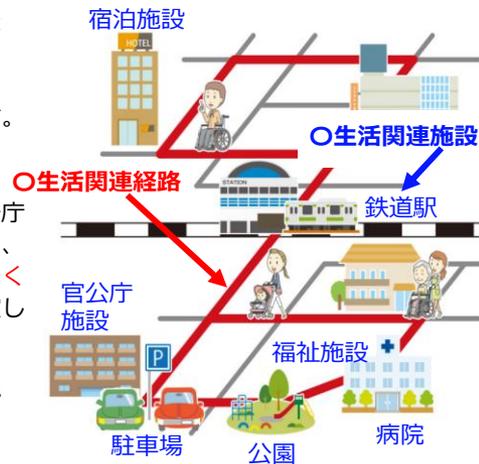
駅や官公庁施設、福祉施設のような施設の中から、高齢者・障害者等が、日常生活において多く利用する施設を「生活関連施設」として設定しています。

② バリアフリー化すべき経路

生活関連施設を結ぶ経路（駅から官公庁施設や福祉施設等を結ぶ経路）の中から、高齢者・障害者等が日常生活において多く利用する経路を「生活関連経路」に設定しています。

③ 生活関連経路のバリアフリー化の促進

設定した生活関連経路について、施設との連続性や、地域特性を踏まえたバリアフリー化の促進を図ります。



景観まちづくりの推進

現計画の策定から10年以上が経過し、デジタルサイネージ等新たな広告物の普及や街並みの変化に対応するため、計画等の改定に取り組んでいます。

○ 主な改定内容【抜粋】

超高層ビル群のスカイラインに関する景観形成 **拡充**

大規模建築物等に係る景観形成 **拡充**

夜間の景観形成 **新規**

新たな屋外広告物に関する景観形成 **拡充**

公共空間の景観形成 **新規**



新宿駅周辺地域のまちづくり

【新宿駅西口地区開発計画】

駅とまちの連携を強化する重層的な歩行者ネットワークや、にぎわいと交流を生み出す滞留空間等を整備します。



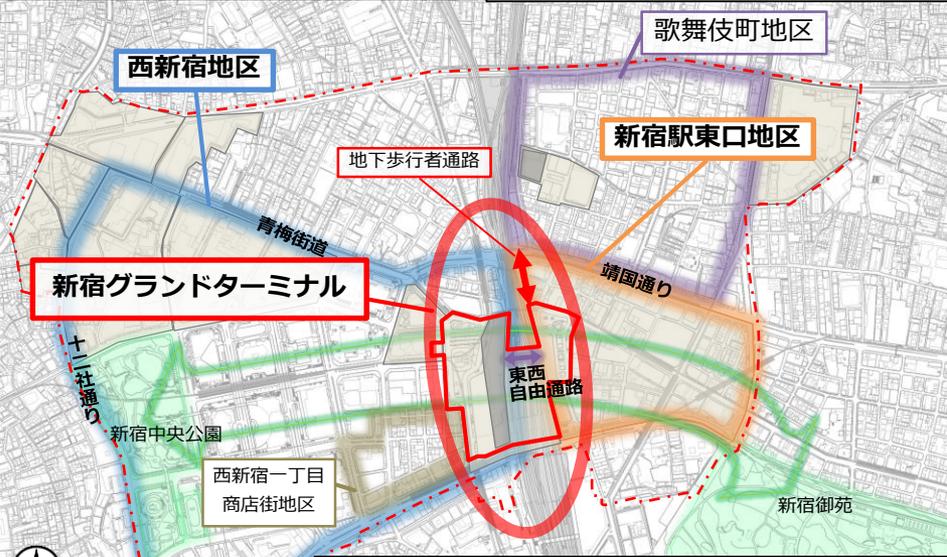
完成予想図
出典：小田急電鉄株式会社HP

【東急歌舞伎町タワー】

多様な大衆娯楽文化を世界に発信するエンターテインメントの拠点、都市観光の拠点形成に資する宿泊施設、歩行者ネットワーク等を整備します。



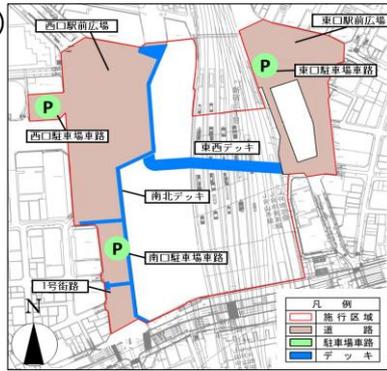
完成予想図
出典：東急株式会社HP



【新宿駅直近地区】

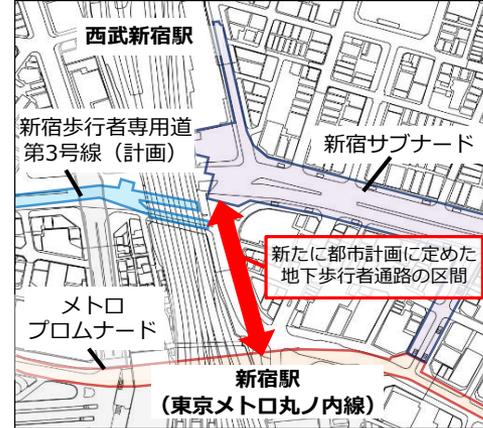
（土地区画整理事業）

都の土地区画整理事業が令和3年7月に着手されました。東西デッキ新設、西口及び東口駅前広場の人中心への再構成等を行い、新宿グランドターミナルとして再編していきます。



- 特定都市再生緊急整備地域
- 地区計画（既決定）
- ⇄ 賑わい交流軸
- 新宿駅直近地区土地区画整理事業

○新宿グランドターミナルの一体的な再編



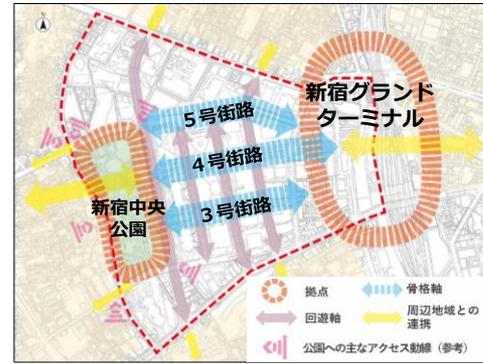
新宿駅では、駅・駅前広場・駅ビル等が一体となった新宿グランドターミナルとして再編するため、「新宿の拠点再整備方針」に基づくまちづくりを進めています。

○新宿駅東口地区のまちづくり



「新宿駅東口地区まちづくりビジョン」を実現するため、商店街振興組合や事業主等で構成される新宿EAST推進協議会と連携し、段階的なまちづくりを進めています。

○西新宿地区のまちづくり



地元町会、商店街振興組合、新宿副都心エリア環境改善委員会、区等からなる「西新宿懇談会」は、令和3年4月に、2040年を見据えたまちの将来像等をまとめた「西新宿地区まちづくり指針」を策定しました。

飯田橋駅東口周辺地区のまちづくり

○ 基盤整備ビジョンの策定に向けた検討を進めています

「飯田橋駅前地区まちづくり勉強会」を開催し、令和4年8月頃に、まちの現況・課題、基盤整備を中心としたまちの将来像を取りまとめた「（仮称）飯田橋駅前地区基盤整備ビジョン」を策定する予定です。



○ 駅を含む都市基盤の検討を進めています

【飯田橋駅周辺基盤整備方針検討会】

委員：東京都、新宿区、千代田区、文京区、鉄道事業者等

事務局：東京都、UR都市機構

東京都・関係3区・鉄道事業者等で構成する検討会において、飯田橋駅周辺基盤整備方針の検討を進めています。

西武新宿線の開かずの踏切対策の検討

○ 鉄道立体化を契機とした、まちづくりの方針を検討していきます

西武新宿線の高田馬場駅から西側の区内区間の14踏切は、全ていわゆる開かずの踏切※となっており、路線バスの運行に支障をきたすなど、地域の方々の日常の暮らしや災害時活動にとって大きな課題となっています。

今後は、すでに決定している連続立体交差化の再検討や、これを契機としたまちづくりの方針を検討していきます。



（※開かずの踏切：1時間当たりの最大踏切遮断時間が40分以上の踏切）

高田馬場駅周辺地区のまちづくり

○ まちづくり方針の策定に向けた検討を進めています

令和2年度より、地域課題を解決するため、学識経験者や鉄道事業者等による検討委員会や地元組織代表者等による協議会との連携により、令和4年7月頃に「（仮称）高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針」を策定する予定です。



まちづくり
コンセプト

誰もが自分の歩幅で成長できる“高田馬場”

～バラエティあふれる魅力が 混ざり合い パワーとなるまち～

- 誰もが気軽にチャレンジでき、成長できるまちの形成
- 駅・まちをユニバーサルデザインでつなぎ、様々な人々が出会い、交流しやすい駅まち空間の形成
- 安全・安心で快適なまちの形成